

「ごみ減量」へトライチャレンジ!



ごみ減量運動への皆様のご理解とご協力により、一般家庭から排出される生活系の可燃ごみ収集量は昨年度と同量でしたが、事業系の可燃ごみ搬入量はわずかながら減少することができました。

西脇市と多可町では、『ともに進める“ごみ減量”と“資源循環”～もったいない!の心を行動へ～』を基本理念に、循環型社会形成に向けた取組みを進めています。

今後も生活系ごみ、事業系ごみ、ともに減量化・資源化につながるようご協力をお願いします。



- 生活系の可燃ごみ収集量は前年度と同量(0.0%)
- 事業系の可燃ごみ搬入量は前年度より減少(1.1%減)

令和7年度ダイオキシン類の測定結果

ごみ処理施設から発生する排出ガス及び周辺環境におけるダイオキシン類の測定を実施しました。測定した結果は次のとおりです。今後も安全・安心な運転管理に努めていきます。

旧ごみ処理施設 (令和7年度6回実施分)

排出ガス ※法律で定める基準値/5ナノグラム以下
0.13~0.30ナノグラム/平均値0.21ナノグラム

旧みどり園周辺環境 (みどり園から2km以内の地点)

一般環境大気 ※法律で定める基準値/0.6ピコグラム以下
0.0092ピコグラム/2箇所の最高値

環境水(湧水) ※法律で定める基準値/1ピコグラム以下
0.090ピコグラム/3箇所の最高値

土壌 ※法律で定める基準値/1,000ピコグラム以下
0.71ピコグラム/3箇所の最高値

●微生物質の単位●

東京ドームに相当する堆積の入れ物を水でいっぱいにした場合の重さが約1,000,000,000,000 (1兆) gです。

この中に角砂糖1個 (1g) を溶かし、その水1ccに含まれている砂糖が1pg (ピコグラム) になります。

火災を防止するには 皆さんの協力が必要です。



リチウムイオン・ボタン電池は「その他の不燃物類」です!!

ごみ収集時に燃えるごみに混入したリチウムイオン電池、ライター、スプレー缶等による車両火災が全国的に増えています。充電式のモバイルバッテリーや小型家電にはリチウムイオン電池が使用されており、衝撃などが原因で激しく発熱・発火するため、誤って可燃ごみに混入させてしまうとごみ収集車や処理施設の火災事故につながります。

正しい分別の徹底にご協力をお願いします。リチウムイオン電池は、絶縁 (ビニール) テープで端子部分を覆うことで、火災予防につながります。

このように
端子部に**絶縁テープ**
を貼るのじゃ



テープ

膨張・変形した電池は
直接「みどり園」に



10ヶ当たり80円の
手数料が必要となります。



リチウムイオン電池が原因と思われる車両火災

みどり園通信 …ともに進める“ごみ減量”と“資源循環”～もったいない!の心を行動へ～…

●ごみピット内の清掃業務を行いました●

旧みどり園 (西脇市富吉南町) 廃止に伴い、ごみピット内部のごみを完全に除去しました。ピットの壁面と床面の洗浄を行い、悪臭・害虫の発生防止を図りました。煙突には鉄製のフタをかぶせ、施設のなかに雨水等が侵入しないようにしました。



清掃前



清掃後